

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課	■担当係	社会教育係
■評価事業名称	生涯学習ガイドブック		
■評価事業コード	400300 - 015	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	01 生涯を通じた学習機会の充実	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	生涯学習情報を広く提供することにより、生涯学習機会の拡充を図る。講座・イベント、講師・指導者、サークル・団体、市内各種施設の情報の提供		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	生涯学習ガイドブック	一般		生涯学習センターホームページでの情報提供 講師・指導者164人、サークル・団体52団体登録済

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	107	1	41	49	
人件費	1,482	82	365	119	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,589	83	406	168	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	情報更新回数	1回	0回	1回	1回	掲載している情報の更新回数
03	情報登録数	601件	601件	216件	216件	全項目の登録数
04	更新作業1回あたりコスト	1,589千円	83千円	406千円	168千円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

05	登録情報1件あたりコスト	2,644円	138円	1,879円	777円	
----	--------------	--------	------	--------	------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

ホームページ等で生涯学習情報を広く公開し、生涯学習活動の推進を図っている

問題点・課題等

講師が行う講座の詳しい内容が把握できないため、基本的な講師情報のみの提供でとどまっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明